

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活援助Ⅲ(食事・排泄)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	18 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	前期	教室名	202、203、実習室
担 当 教 員	鬼頭 浩美	病院等で計14年勤務 介護支援専門員 看護師			
《科目目標》					
<p>1) 人間の生理的欲求である排泄の意義を学び、尊厳ある援助について考えられる。</p> <p>2) 排泄のメカニズムと健康な生活を送るための排泄援助が説明できる。</p> <p>3) 自然排泄を促すための援助および排泄困難への援助が模擬実践ができる。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>【評価方法】終講テスト80%・課題レポート20%</p> <p>【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<p>①ナースング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版 ②基礎・臨床看護技術 医学書院 ③EX3巻 消化器 メディカ ④EX8巻 腎/泌尿器 メディカ</p>					
《授業外における学習方法》					
<p>1)講義までにテキスト①②をよく読み、わからない言葉や理解困難な内容を明確にしたうえで講義に臨む</p> <p>2)事前に動画を視聴することで実践のイメージをつけて演習に臨む。</p> <p>3)排泄のメカニズムについて既習学習である解剖生理の復習をしておく。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
<p>1)適切なコミュニケーション技術を用いながら対象の安全・安楽、自立、尊厳に配慮した実践を目指す。</p> <p>2)人体の構造と機能での既習内容とつなぎ合わせながら、根拠に基づく援助を考える。</p> <p>3)演習には主体的に参加し、より良い実践方法を探求する。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	排泄の意義及び排尿・排便の生理学的メカニズムが説明できる	テキスト(iPad)ワークシート	①P176～178、③P14～24の箇所を読み、わからない用語は調べておく。テキスト③P14「消化器の解剖生理」動画を視聴しておく。	
	各コマにおける授業予定	1)人間にとっての排泄の意義 2)便の生成 3)排便のメカニズム			
第2回	授業を通じての到達目標	排泄の意義及び排尿・排便の生理学的メカニズムが説明できる	テキスト(iPad)ワークシート	①P176～178、⑧P14～24、P132～133の箇所を読み、わからない用語は調べておく。④P16～18、P18「腎臓の解剖生理」動画を視聴しておく。	
	各コマにおける授業予定	1)尿の生成 2)蓄尿・排尿のメカニズム			
第3回	授業を通じての到達目標	排尿・排便のニーズのアセスメントの視点が理解できる	テキスト(iPad)ワークシート	①P178～183の箇所を読み、わからない用語は調べておく。	
	各コマにおける授業予定	1)尿・便の性状(正常と異常) 2)尿失禁・便失禁 3)排泄行動と排泄行動を阻害する活動・運動場の要因 4)自然排尿・自然排便を阻害する要因			
第4回	授業を通じての到達目標	尿器・便器・おむつを用いた援助方法が理解できる	テキスト(iPad)援助計画書	援助計画を立案し、指定された期日に提出する。	
	各コマにおける授業予定	1)尿器・便器・おむつの種類と適応 2)尿器・便器・おむつを用いた援助 3)自然排尿・排便への援助			
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	

第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	尿器・便器・おむつを用いた援助が模擬実践できる	テキスト(iPad)	実施、振り返り、計画の追加・修正を行い、指定された期日に提出する。
		各コマにおける授業予定	1) 模擬実践 2) 動画の撮影 3) 相互評価		
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	導尿・浣腸による排泄援助の方法、留意点が理解できる	テキスト(iPad) ①P194～199 ②P189～201 ワークシート	無菌操作、尿道・膀胱・直腸・大腸の解剖生理を復習しておく。 導尿・浣腸の援助計画を立案し指定された期日に提出。
		各コマにおける授業予定	1) 自然排尿・排便困難 2) 一時的導尿・持続導尿(尿留置カテーテルの管理) 3) 浣腸(グリセリン浣腸・高圧浣腸)・摘便		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	導尿・浣腸による排泄援助の実際が理解できる	テキスト(iPad) ワークシート	実施した援助技術の内容を振り返り、計画の追加・修正を行い指定された期日に提出。
		各コマにおける授業予定	1) 一時的導尿 2) 浣腸		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストーマの援助について理解できる	テキスト(iPad)	①P191～193の箇所を読みわからぬ用語は調べておく。P192「ストーマ装具の交換」動画を視聴しておく。
		各コマにおける授業予定	1) 消化管ストーマ 2) 尿路ストーマ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		